

検査科新部長就任

佐藤昌明前部長に変わり今春より検査科に高桑康成部長が就任されました。

～新部長より ごあいさつ～

平成25年4月より臨床検査科部長を拝命致しました高桑でございます。

臨床検査はその特徴から大きく3つの部門からできています。

患者様から採取した血液や尿などを、分析機器を使って調べる検体検査部門、心電図や超音波機器等を使い、患者様の身体に直接ふれて体内の変化を調べる生理検査部門、そして身体の一部より採取した細胞や組織の標本を作り、顕微鏡を用いて病気の診断を行う病理検査部門です。

臨床検査科では日当直体制を導入しており、24時間年中無休で診療支援を行っています。その中で他部門との緊密な連携により、効率的な業務運営を行うよう努力して参ります。

専門医療に不可欠な臨床検査データを、正確かつ迅速に提供するには専門性の高い技師の育成が重要です。当科では各種認定技師の取得を積極的に進めており、現在までに超音波検査士、認定血液検査技師、認定細胞検査士などの多くの認定技師が誕生しています。



また、北海道臨床検査技師会が主催する病院間の精度管理調査(コントロール・サーベイ)も積極的に活用しております。

これは同じ試料を多数の施設に配布し、測定値を集計・解析することによって施設間差の実態を調査するものですが、当科では毎年必ず参加して、検査技術の向上や分析法の標準化に努めています。

今後もより一層、検査の質向上に向けて職員一同研鑽に励み、患者さんにより良い検査を提供していく所存です。